



島影俊英さん

隣保館長・指導職員 合同研修会

一月二十日（金）、松山市にて愛媛県隣保館長・指導職員合同研修会が開催されました。

四国学院大学名誉教授 島影俊英さんによる「対人支援におけるマインドフルな聞き方のすすめ〜瞑想・傾聴・観察そして対話〜」と題した講義と演習では、「物事は、白と黒を求めがちだが、その間が無数に広がっている。いろいろな価値観や立場が

うちこ福祉館だより



令和5年
3月発行
電話・FAX
44-3410

あつて、そのうえで対話が必要となってくる。マインドフルネスとは「今、この瞬間の体験に意図的に意識を向け、評価をせずにとらわれのない状態でただ観ること」と定義している。【観る】は、見る・聞く・嗅ぐ・味わう・触れる、更にそれにより生じる心の働きをも観る、という意味をもつ。」と話されました。

全国女性職員研修会 に参加して

一月二十六日（木）・二十七日（金）、兵庫県にて第二十回全国女性職員研修会が開催され館長と職員が参加しました。

初日は、暁法律事務所の前弁護士 中井雅人さんにより「インターネット上の部落差別について」全国部落調査「復刻版出版事件裁判の判決と問題点」と題した講演があり、「現代の誹謗

今後のマスク着用について

三月十三日以降、着用は個人の判断に委ねることになります。本人の意思に反してマスクの着用を強いることがないよう、個人の主體的な判断が尊重されます。また一方で、事業者が感染対策上または事業上の理由等により、利用者や従業員にマスクの着用を求めることは許容されます。

うちこ福祉館では「来館は、ご自身の体調に合わせて判断しましょう」とお伝えしております。状況によって着用をお願いすることもありますが、当面、来館の際にはマスクをご持参くださるとありがたいです。

中傷の発言などはインターネット上によるものが多く弁護士団も苦戦している。」と説明がありました。

また「裁判になっても全部が勝訴するわけではない。個人情報提供など必要となるため、個人から引き下がる例が後を絶たない。」と話されており、これほどの屈辱はないのではないかと、差別する側が勝訴することなどありえないのではないかと憤りを感じました。

オンライン研修

二月十日（金）、香川県にて第十二回四国ブロック隣保館職員研修会・第四十一回全隣協ブロック別学習会が行われ、オンライン形式にて参加しました。

関西外国語大学教授 人権教育思想研究所所長 明石一朗さんによる「好感・共感・親近感が高人権力を育む〜更なる人権・同和問題の解決をめざして〜」と題した講演がありました。

その中で「差別の現実を学ぶ。差別は必ず終わるといふ見通しと展望をしっかりと学ぶ。」出口の見えるトンネルは怖くないが、出口が見えないままだと暗くて怖い。人権教育は暗く怖いままではいけない。」ということをお話いただきました。

また、明石さんは「嘘をついてだます人、人のものを盗んで横取りする人、人の命を傷つける人、これらは人の値打ちを落とす。出会って触れ合って学び合って友達になったら、差別は生まれません。隣保館は近い人が助け合って育み合うところ。人と人との【つながり】になるのが隣保館。」と話されました。

第六回健康講座



井伊由佳さん

いっぺ～体操
口呼吸から鼻呼吸に～

二月十四日(火)健康講座を行いました。講師は、毎回参加者から質問が飛び交う、在宅歯科衛生士 井伊由佳さん。「舌(せつ)は自分の現在の健康状態を示す目印となる大切なもの。専用の舌ブラシを使いましょう。」「唇をしっかり動かし、声を出して、健口(けんこう)体操を行います。よう。」「など、楽しく指導して下さいました。

調理実習では、町管理栄養士 酒井涼香さんを講師に、低栄養を予防する料理を作りました。「予防の観点では、主菜から食べてたんぱく質などをしっかりと摂取することが大切。」「味噌汁にスキムミルクを加えるとカルシウム・たんぱく質が補給でき、更にコクが出ます。」「など料理のコツも教えていただきました。

ねずみくんのきもち

一月二十日(金)五城保育園において、保育参観に合わせて、わくわく出前講座「ねずみくんのきもち」(フクフク)による人権ペープサート【ねずみくんのきもち】を上演しました。保護者の方も含めて総勢八十名が参加されました。

また、二月十四日(火)の午後内子児童館より児童クラブ三十四人の皆さんが来館されました。上演後には、ステージに上がって、紙人形や小道具を手に取り、少しでもですが演者気分を味わってもらいました。



舞台裏はこんな様子だよ！

作品のテーマでもある思いやり、自分以外の人のことを考え尊重する大切さなど、少しでもご家族や誰かと話し合う機会に繋げていただけたらと願っております。

【うちこ人権映画祭】開催します。

1. 開催日時：令和5年3月13日(月)

- ①昼の部 午後2時～ 内子中3年生、一般の方10人程度
- ②夜の部 午後7時～ 一般の方(定員60人)

2. 上映場所：うちこ福祉館 2階 集会室

3. 入場料：無料

4. 参加申込：事前にうちこ福祉館まで申し込んでください

5. その他：履き物をご用意ください。会場内マスク着用、手指消毒をお願いします。

6. 上映作品：梅切らぬバカ(上映77分)

都会の古民家で寄り添って暮らす母と息子。ささやかな毎日を送っていたが、息子が50回目の誕生日を迎えた時に母はふと気づく。「このまま共倒れになっちゃうのかね？」

母親と自閉症を抱える息子が、社会の中で生きていく様子を温かく誠実に描きます。地域コミュニティとの不和や偏見といった問題を取り入れながらも、親子の絆と深い愛を描き、あたたかな感動をもたらします。

7. 問合せ先：うちこ福祉館 電話兼FAX 0893-44-3410

